

12 豊岡地区



1. 第4期計画策定（令和3年度～7年度）



みんながつながるまち豊岡

目標1 笑顔であいさつして交流の輪を広げよう

■5年間の具体的な取組

- ①子どもから高齢者、障害のある方、外国人まで、日頃からあいさつして、顔の見える関係づくりを広げよう。
- ②清掃やゴミ出しなど日常生活での関わりや、地域行事などをきっかけに、住民同士の交流を進めよう。



豊岡地区運動会

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標2 安全・安心な町づくりを進めよう

■5年間の具体的な取組

- ①学童の下校時の見守り活動や防犯パトロールを続けて、地域みんなが安心して暮らせる町づくりを進めよう。
- ②自然災害時に備えて、日頃から要援護者を見守る体制づくりを進めよう。
例：「黄色いリボン」「無事です」カードなどの活用
地域の防災訓練への中学生や若い世代の参加



地域防災拠点訓練

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標3 心と身体の健康づくりを行おう

■5年間の具体的な取組

- ①外に出て、人とつながり、心も身体も健康になろう。
例：豊岡ふらっとカフェなどの居場所づくり
地区連合運動会への参加
- ②地域で健康づくりの取組を行おう。
例：声をかけ合って特定健診を受診
口腔ケアで、歯の健康づくりや感染予防
体操教室（指導者巡回型や介護予防など）への参加



豊岡ふらっとカフェ

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

2. これまでの取組について

< 第3期計画の主な取組内容（平成28年度～令和2年度） >

笑顔で元気な町づくり

目標1 笑顔であいさつ 目標2 安心・安全な町づくり 目標3 健康づくり

5年間の活動の振り返り

豊岡地区では、笑顔で元気な町づくりに向けて、さまざまな取組を行ってきました。

平成28年度

学童の見守り活動を始めました

「地区全体で取り組めるような活動をしていきたい」という思いが現実になり、平成28年1月から7町会合同で学童の見守り活動に取り組んでいます。

月に一度、下校時に、豊岡小学校周辺や各町会で危険があると判断した場所に立って、生徒さんに笑顔であいさつをしています。生徒さんからも元気な声で、「さようなら」とあいさつが返ってきます。



学童の見守り活動

平成29年度

障害のある方への理解

区内の障害児者施設の職員の方や障害のある方のご家族に、自閉症をテーマにお話をさせていただきました。半分にしたペットボトルを覗いて自閉症の方の見える世界を感じたり、表現することが難しい言葉を絵に描いてみるといった体験を通し、障害への理解を深めることができました。



絵描きでコミュニケーション体験

平成30年度

認知症の方への理解

認知症カフェ「豊岡ふらっとカフェ」が立ち上がった経緯の説明をした後、カフェの様子をビデオ上映会で振り返りました。

ご本人やご家族の不安を少しでも取り除くことが出来ればとの温かい思いに触れ、カフェに訪れた方の笑顔溢れる様子をビデオで鑑賞し、活動の理解を深め、「ふらっとカフェ」を連合全体で応援していこう！ということになりました。認知症になられても安心なまちづくりをすすめています。



認知症カフェのビデオ上映会

< 第4期計画策定に向けて >

地区懇談会での意見（令和2年7月8日開催 豊岡地区あいねっと情報交換会）

- ・あいさつはコミュニケーション、つながりの基本。
- ・つながりのきっかけとなる、イベント・祭り・行事等が大事。
- ・災害時のため、要援護者の把握をきちんとすすめていきたい。
- ・皆さんと集まり、お話することは心の健康につながる。
- ・特定健診を町ぐるみで声かけして受診を勧められると良い。
- ・「歯の健康づくりを進める取り組み」はどうか。歯の健康は、口腔ケア、感染予防にもつながる。



グループワークでの意見交換

地区懇談会の結果を踏まえて、地域での話し合い

（令和3年11月17日開催 豊岡地区あいねっと情報交換会）

- ・顔の見える関係づくりでは障害のある方も言及したい。
- ・安全・安心な町づくりには防犯パトロールの継続が大事。
- ・防災訓練に若い世代の参加促進や人材育成が必要。
- ・健康づくりでは地区連合運動会や体操教室の参加を広く呼びかける。

